

自分たちでつくるって楽しいね！

校長 松本 雅史

先週の金曜日は、五小フェスティバルでした。

3年生以上の皆さんは、自分たちでお店を考えて、みんなにどうしたら喜んでもらえるだろうかと、さまざま知恵を出し合って、協力し合ったことと思います。お店を回るのももちろん楽しいのですが、何といってもこの取組の楽しさは、みんなでつくり協力する中にあるのではないのでしょうか。人をおもてなしし、喜んでもらう楽しさ、そのためにみんなで頑張る楽しさは、頑張れば頑張るほど大きくなります。

振り返ってみると、これまでもずっとそうだったと思います。運動会でも、ほかの学年の演技や競技を見るのは本当に楽しいものです。でも、それ以上に、自分たちが頑張って練習してその練習の中で絆ができたと、その思い出が大切な宝物となっていくたのではないのでしょうか。

また、一昨日は、たけのこ公園で地域の自治会のお祭りがありました。これは、お祭りを通して地域の高齢者や子供たちなど、世代を超えてみんなが仲良くなろうということで行った取組です。

「みんなが仲良くなる」

「もっと人と人との絆を強くしたい」

この思いは、6年生が1学期に行ったウェルビーイングフェスタと同じですね。このお祭りの様子は、学校のホームページでも紹介させていただきました。

さて、今日と明日は、道徳授業地区公開講座といって、おうちの方々や地域の皆さんにご来校いただき、子ども達の心の学びの様子を見ていただく日です。

低学年は、紙芝居を通して、思いやりなどについて考えます。

中学年は、昨年も来ていただいた岩渕さんに「しつもん」の授業をお願いしています。

高学年は、国連のユニセフの方から、平和や命の尊さについてお話を伺います。

どの内容も、とても心が豊かになったり、自分自身のことや未来のことを考えたりするいいきっかけになることと思いますが、ぜひ、この学びについておうちの人と家でも話をしてもらえたらと思います。

最後になりますが、今週は保護者や地域の方々、ゲストティーチャーの方々など、多くの方が来校されます。廊下や階段でお会いした時には、明るくご挨拶ができるといいと思います。挨拶は、相手の顔をしっかりと見て、笑顔でするのが基本です。

五小に来ると、いつも子どもたちの笑顔と挨拶で迎えてもらえる、五小に来るのがいつも楽しみとどの方からも思っていただけ、そんな学校をつくっていきましょう。